

## 正 誤 表

「シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト（改訂第3版 第4刷）」

下記の箇所にご迷惑がございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
47	下から3行目	文末で改行し、以下を追加 ■保護伸展反応は、転倒から身を守り、姿勢の安定と保護に関与する。	
48	㊶ 脊髄レベル a. 探索（四方）反射 rooting reflex b. 吸啜反射 sucking reflex	51頁～「㊵ 脳幹レベル」内に移動（項目 a, b として挿入）	
56	㊴ 皮質レベル b. 保護伸展反応 protective extension reaction （パラシュート反応 parachute reaction）	53頁～「㊳ 中脳レベル」内に移動（項目 f として挿入）	
68	上から3行目	～立位姿勢は、甲帯を内転して～	～立位姿勢は、 <u>肩</u> 甲帯を内転して～
100	下から1行目	座骨や上肢～	<u>坐</u> 骨や上肢～
105	「機能的スキル」および「介助者による援助の表	Row Score	<u>raw score</u>
106	memo 内 上から4行目	Row Score	<u>raw score</u>
112	㊸ 8-6 タイトル, 上から3行目	marmeid	<u>mermaid</u>
123	上から10行目	脳質の変形を認め	<u>脳室</u> の変形を認め
124	㊸ 8-14 (㊸説)	脳質の変形が	<u>脳室</u> の変形が
226	㊸ 15-2 (左側の囲み)	披裂咽頭蓋ひだ軟化症	<u>披裂喉頭軟化症</u>
	下から2行目	披裂咽頭蓋ひだ軟化症は～	<u>披裂喉頭軟化症</u> は～
288	下から7行目	被裂部の～	<u>披</u> 裂部の～

2024年5月13日

株式会社南江堂